

資料3 自賠責制度の理解増進について

令和4年7月12日

広報の目的

- ✓ 国土交通省において実施する被害者等支援を自動車事故による被害に遭われた当事者・家族、遺族に漏れなく届けること
- ✓ 新たなユーザー負担(賦課金)への理解増進を図ること

必要なことは何か。

- ✓ 国土交通省による被害者等支援を知ってもらうこと
- ✓ 独立行政法人自動車事故対策機構の認知度を上げること
- ✓ クルマ社会の安全・安心の確立のためには、被害者等支援と事故防止対策を合わせて「クルマの両輪」として実施することの理解を得ること
- ✓ 一般会計からの繰戻し、賦課金の使途拡大等、財源を巡る状況について周知すること

広報PRの進め方

基本的考え方

- ✓ 被害者等支援や事故防止対策が自賠償の枠組みでされていること、NASVAの認知度は非常に低いこと
- ✓ 被害者等へのアウトリーチとユーザーの理解促進それぞれ趣旨と目的に応じた対策が必要
- ✓ 世代ごとに普段使うツールや行動パターンを踏まえた広報PRが重要

広報PRの基盤となるポータルサイトの作成

- ✓ 被害者等支援や事故防止対策、NASVAをわかりやすく、簡潔に紹介
- ✓ 被害者等の置かれている現状を紹介
- ✓ 被害者等支援や事故防止対策を巡る財源の状況について紹介

被害者等へのアウトリーチ

保険会社・病院等を通じたアウトリーチ

- ✓ 被害者等支援のリーフレット
 - ✓ 「交通事故にあったときには」
 - ✓ 「被害者ノート」
- をそれぞれ適切な時期に適切な場所で配布
(関係団体の協力を仰ぐことも検討)

ユーザーの理解促進

被害者等支援・事故防止、自賠償保険、財源の理解増進

自賠償保険の加入促進と合わせた
被害者等支援等への理解促進

- ✓ InstagramやYoutube等の活用
- ✓ Yahoo!等の検索結果に応じた広告
- ✓ 交通広告(電車内・駅構内ビジョン等) 等

被害者等支援・事故防止と
財源へのユーザー理解促進

- ✓ InstagramやYoutube等の活用
- ✓ 自動車・バイク等の購入時や車検時等の
接点を意識したポスター等による周知 等

世代やメディアの特性を踏まえた広報PRを実施(関係団体の協力を仰ぐことも検討)

R4年度 秋

R4年度 秋

R4年度 冬

R5.4

スケジュール

ポータルサイトの運用開始

SNS等を活用した広報PR

パブリックコメントの実施

新制度への移行